

K-Baduk TV はメディア保管用に Infotrend ストレージを選択

顧客

韓国のケーブルテレビ局 K-Baduk は、囲碁のトーナメントと関連する番組を放送しています。

課題

- メディアファイルを毎月 2TB HDD 20 個に手動で保存している
- これらの HDD を人力で物理的なケースに入れラックに保護し、整理している
- データ損失や重複の恐れがある
- データの取り扱いや再保存が難しい
- 合理化された業務の構築が必要

ソリューション

EonStor GS 1024S をメディア保管に使用します。

- 業務の合理化が可能で、データの保存や取り扱いが簡単になる
- RAID 6 の利用と組み込み WORM (Write Once Read Many) 機能により、データ損失のリスクを大幅に低下
- コンパクトな 4U 24-bay 設計によって、設置スペースと電力消費量を削減
- 拡張筐体を使えば、448 台以上のドライブを搭載でき、5PB 以上の生データ容量まで拡張可能

「Infotrend の GS 1024S ユニファイドストレージは、多くの時間と場所を削減してくれました。そのため、私は自由を手に入れました。」と K-Baduk TV の伝送チームの部門長 YoHan Lee は述べています。



韓国のケーブルテレビ局 K-Baduk は、メディア保存アプリケーション用に EonStor GS 1024S を採用しました。K-Baduk は、囲碁のトーナメントと関連番組を放送しています。囲碁は複雑さが知られたアジアの古代からのボードゲームです。2 人の差し手が互いに相手より広い領域を取り合うゲームで、韓国では非常に人気があります。

課題

以前 K-Baduk では、20 台の 2TB HDD に記録されたメディアファイルを毎月ディスクごとに手作業で保存していました。その際、物理的なケースとラックを使ってこれらのディスクの保護と整理を行い、多くの労力が必要でした。さらに、メディアファイルの複製や保存を人の手で行っていたため、内容の重複やデータの損失が発生していました。これらのデータの取り扱いには多くの時間と労力を要する面倒な作業でした。



ソリューション

GS 1024S ユニファイドストレージを導入することで、K-Baduk は業務を合理化することができ、データの保存や取り扱いが簡単になりました。また K-Baduk は、RAID6 と組み込みの WORM (Write Once Read Many) 機能を使うことで、データ損失のリスクを劇的に軽減することができました。

EonStor GS 1024S を選択する理由

EonStor GS 1024S は、高いスループットとバックアップアプリケーション用のデータ保護機能を持ったユニファイドストレージです。コンパクトな 4U 24-bay 筐体によって、設置スペースと電力消費量を低減することができます。さらに重要なことは、GS 1024S は様々な拡張筐体が接続でき、448 台以上のドライブを搭載でき、あるいは 5PB 以上の生データ容量を提供しながら、価格は中小企業にも優しいという点です。

「GS 1000 シリーズは、メディアの保存には堅実で信頼できる選択です。潜在的な経費節減効果と投資収益率は絶大です。」と Infotrend の製品企画担当上級役員 Thomas Kao は述べています。

K-Baduk テレビ局について

韓国のケーブルテレビ局 K-Baduk は、囲碁のトーナメントと関連番組を放送しています。囲碁は複雑さが知られたアジアの古代からのボードゲームです。2 人の差し手が互いに相手より広い領域を取り合うゲームで、韓国では非常に人気があります。詳細については、[ここ](#)をクリックしてご確認ください。